

手話を学ぶには

手話通訳者養成講座

アイラブユー I Love You



聞こえない人と話したい

奉仕員養成講座

手話を初めて学ぶ人が、日常会話に必要な手話を習得することを目指します。

手話通訳者になりたい

手話通訳者養成講座

手話を使って耳の聞こえない人との日常会話が可能なのが、手話通訳者になることを目指す講座です。(「手話通訳Ⅰ」「手話通訳Ⅱ」「手話通訳Ⅲ」課程があります)

市内の手話サークル

尼崎市には多くの手話サークルが活動しています。手話サークルでは、ろう者と交流しながら学ぶことができます。

手話ミニ講座

簡単な手話を覚えてみましょう



おはよう



こんにちは



こんばんは



ありがとう



すみません



よろしく
おねがいします

イラスト協力：濱崎 明奈

このリーフレットの問合せ先

尼崎市健康福祉局障害福祉課

電話：06-6489-6577 FAX: 06-6489-6351



尼崎市(あまがさき)シティプロモーションマスコット あまっこ

尼崎市(あまがさき)



あまがさきししゅわげんごじょうれい
尼崎市手話言語条例ができました



手話で共に生きる
社会の実現を目指そう

尼崎市(あまがさき)シティプロモーションマスコット あまっこ

尼崎市では、手話が言語であるとの理解を深め、障害の有無によって分け隔てられることなくお互いを尊重し、理解して共に生きることができる社会の実現を目指すため、尼崎市手話言語条例を制定しました。

平成29年12月25日に市議会で可決し、翌26日から施行されています。

あまがさき
尼崎市

手話とは



手話は、手指や身体の動きと表情を使って表現する視覚言語です。日本語とは異なる語彙や文法を持っています。手話は地域によって表現が違います。「方言」と一緒です。

ろう者とは

尼崎市手話言語条例では、聴覚に障害があり、手話を言語として使用することにより日常生活又は社会生活を営む人と規定しています。聴覚に障害のある人で、手話ができない人もいます。

手話通訳者とは

手話により、ろう者と聞こえる人たちがつなぐ人のことで、重要な役割を担っています。尼崎市聴覚障害者コミュニケーション支援センター(尼崎市聴力障害者福祉協会)では、聞こえない人から手話通訳者の派遣を受け付けています。



尼崎市手話言語条例のポイント

手話に対する理解

障害の有無によって分け隔てなく共に生きることができると社会の実現を目指す

ろう者に対する理解

私たちの役割

市民の役割

- ◆ 手話とろう者への理解
- ◆ 手話等に関する市の施策に協力

市の役割

- ◆ 手話とろう者への理解、手話の普及の促進に関する施策の策定・実施

事業者の役割

- ◆ 手話とろう者への理解
- ◆ ろう者が利用しやすいサービスの提供、ろう者が働きやすい環境の整備
- ◆ 手話等に関する市の施策に協力

具体的な市の取組

手話とろう者への理解を深めるための機会の確保等

- ◆ ろう者、手話通訳者や市民等と協力して、手話に関する講習会を実施することなど、手話とろう者に対する理解を深めるための機会の確保
- ◆ 市職員が手話及びろう者に対する理解を深めるための研修の実施

手話を使用した情報発信

- ◆ 手話による市政に関する情報の発信
- ◆ 手話通訳者の確保と養成のための施策
- ◆ 手話通訳者養成講座の実施

※ 施策の実施状況等について、ろう者、学識経験者、手話通訳者や市民等の意見を聴くこととします。

聞こえない人が困ること



- ◆ 外見からは障害があることが分からないため、声を掛けられても気づきにくく、周りから「無視された」と誤解されることがあります。
- ◆ 呼び掛けても反応がない場合、「聞こえない」のかもしれませんが、軽く肩をたたいたり、後ろからでなく前に回って話しかけたりしてみてください。



- ◆ 放送や呼び出しが聞こえません。そのため、災害時などの状況判断が遅れることもあります。
- ◆ 話しかけられても何を言っているのかわかりません。また、声に出して話すことが上手くできない人もいますので、細かいことが伝わらずに誤解されてしまうことがあります。

- ◆ 口の動きをはっきりさせて、ゆっくり話したり、筆談や簡単な身振り・手振りで情報を知らせてください。(マスクはなるべくはずすようにしてください。)

そのお店ならあちらですよ

